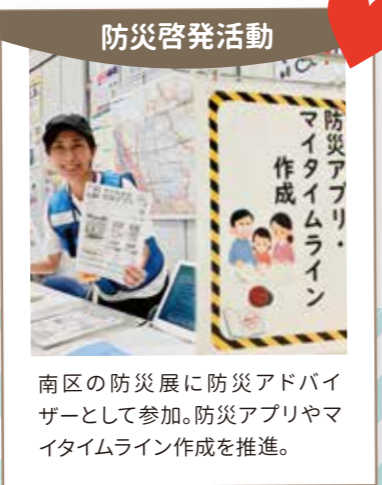


# 議会&地域活動SNS発信!



南区の防災展に防災アドバイザーとして参加。防災アプリやマイタイムライン作成を推進。



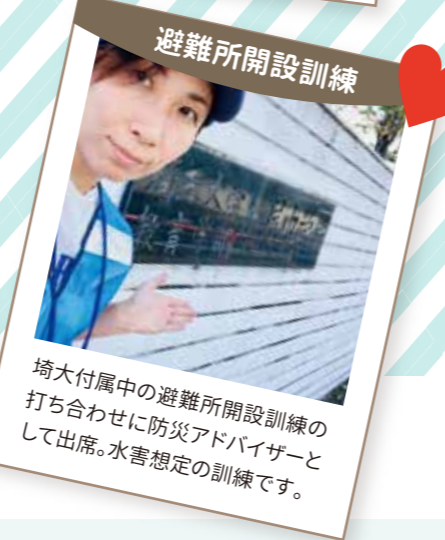
地元自治会の防災訓練に参加! 通報訓練と水消火器での消火訓練を行いました。



スポーツ議連の会員として、浦和レッズの応援に。2-0で見事に勝利!! 大歓声でした♪



子育てに関する相談事に対応するため、さいたま市子ども家庭総合センターを視察。



埼大付属中の避難所開設訓練の打ち合わせに防災アドバイザーとして出席。水害想定訓練です。

**Follow me!!!**

ほぼ毎日SNS更新中

QRコード

Instagram @sato\_manami\_1

X (旧Twitter) @satomanami\_1



私のSNSアカウントでは200件以上のコメントがあり、700件以上シェアされ、12.4万件以上表示されました。

## 埼玉県の“虐待禁止条例案”について

10月4日に埼玉県議会で虐待禁止条例の一部を改正する条例案が提出されたことによって、大きな反対運動が起こりました。全国区のニュースにもなったこの条例。さいたま市議の私の元にも、多くの方から不安や怒りの声が寄せられました。結局は一旦取り下げられましたが、今回の件で県民市民の目はこれまで以上に政治家に厳しくなったと思います。普段から自分の選挙区の議員の発信内容や、考え方などをちゃんと知っておかないと、私たちの生活はまたきっと政治に振り回されることになるでしょう。私自身も、しっかりと皆様に市政や議会活動をお伝えし、より良いさいたま市になるように、引き続き全力を尽くして参ります!

# 佐藤まなみのさいたま市議会活動報告

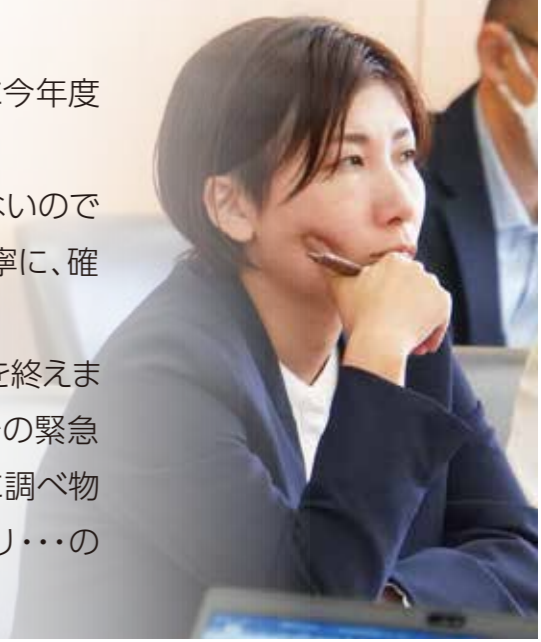
## #無所属新人議員日誌

さいたま市議会議員の佐藤真実です。

議員になって6ヶ月が経ちました。この間に様々なことがあり、特に今年度はさいたま市議会でもイレギュラーなことが度々起こっています。

新人議員なので、何が通常で何が異例なのかまだよくわかっていないのですが、先輩議員や議会局の方々に教えて頂きつつ、ひとつひとつ丁寧に、確実にこなしていけるよう、慎重に動いています。

9月6日からスタートした9月定例会は、10月20日に45日間の会期を終えました。この定例会では、本会議や常任委員会の他に、臨時本会議での緊急質問や、初めての決算特別委員会への出席、討論・採決があり、常に調べ物をしたり、執行部の職員の方々との打ち合わせ、質問事項を考えたり…の日々でした。ず〜っと難しい顔をしていた気がします。



### ～ 議会の資料は紙だらけの巻 ～

世間では様々な場所でDX化 (Digital Transformation デジタルトランスフォーメーション: 最先端デジタル技術を駆使して業務に変革を起こす取り組み) が話題になっていますが、さいたま市議会はまだまだ紙での資料配布が多いです。左記の写真は、ほとんどが決算特別委員会関連の資料ですが、大きな紙袋に入れて渡されました。重さは2kg以上あったかと思います。決算の数字や、膨大な数の事業をひとつずつ確認しなければいけません。

デジタル化で、キーワードや重視したいデータを検索できるようにするなどの工夫が可能なのでは?と思いました。

▲定例会開始1週間前に配布される資料の山。とにかく、時間がない!!!!

**た・だ・し** **紙の方が便利な場合があることも事実です**

私自身はDX化を推進しているのですが、実際に議会活動をしていると、「紛失や捨てない限り手元に残る」「読みやすさ」「書き込みやすさ」については、紙資料にはまだまだ勝てないのかな?と感じています。この課題については、時と場合によって使い分けることが大切なのではないかと考えます。

発行責任者

さいたま市議会議員 南区選出 佐藤まなみ

事務所 〒336-0027 さいたま市南区沼影1-2-4-202号室

info@sato-manami.com

市政に関するご意見ご要望等を  
左記までお寄せください。



# 市議会のアレコレ知ってますか？

ここが変!  
その①

## 会派制とオブザーバー



これは各種委員会での理事会や代表者会議での話です。

私が所属する会派の無所属みらいは、交渉会派(交渉会派になるには5名以上の議員が必要)ではないので、オブザーバー扱いです。オブザーバーは意見を聞かれることはありますが、その発言の機会は休憩中(議事録には残らない)のみ可能です。さいたま市議会は議会運営をスムーズにさせるために会派制を採用しています。しかしながら、たとえ交渉会派でなくても、無所属でも、私たち議員は市民の皆様から選ばれた60名のうちのひとりです。にも関わらず、こういった格差が生まれてしまうのは、おかしいことなのではないでしょうか。



▲理事会の席の名札には、はっきりと「オブザーバー」と表記されています。



ここが変!  
その②

## 市議会だよりさいたま「ロクマル」に全議員の発言が載らないのはおかしい!

一般質問や代表質問で10分以上質問しないと、発言内容は市議会だよりに掲載なし。元々質問時間が5分しかない無所属議員は、内容に関係なく掲載されません。私は今定例会の『請願第24号「ロクマル」に全ての議員の発言を載せてください』に賛成しました。【結果:賛成少数で不採択】  
不採択理由は「動画配信されているから必要ない」等。私には到底理解できない内容でした。これは、議会改革をしなければならぬ事と考えます。

## 保健福祉委員会/決算特別委員会/本会議 に出席しました

## 保健福祉委員会で行政執行部に初めて議案外質問しました!

議案外質問とは、定例会などで上がってきた議案とは別に、議案以外のことで質問したいことを質問できます。

会派の持ち時間10分間の中で、大きく3つに分けて質問しました。この活動レポートではそのうちの1つをご紹介します。

「具体的にココが問題です!」と示しながら質問しました。  
※委員長に資料提示の事前通告が必要

質問

### ユニバーサルデザインについて

※簡単にいうと、「みんなにやさしいデザイン」です。

さいたま市は2009年に、『さいたま市ユニバーサルデザイン推進基本指針』を策定している。しかしながら、例えば、昨年度発行した福祉の冊子は、色使い等にカラーユニバーサルデザインが反映されていない。ホームページは階層が深過ぎて検索しても欲しい情報が見つげづらく、情報のユニバーサルデザインが反映されていない。福祉局としての考え方と取組について見解を伺う。

執行部  
答弁

情報を受け取る側の市民にとって、気づきやすく、伝わりやすいものとなるよう情報を発信する側が配慮し、工夫するという視点は大変重要であると認識している。事例として示された冊子で配慮に関する指摘については今後の参考とし、真摯に受け止め、学びの場を積極的に活用し、ユニバーサルデザインを取り入れた広報物の作成及び情報の発信に努めていきたい。

# ほぼ毎日質問!初めての決算特別委員会

怒

決算特別委員会は20人の議員から構成され、私も理事として所属しており、令和4年度の決算内容について審議しました。議員になる前の事業ということもあり、全容の把握は難しく、何をどう質問したらいいのかにも悩みましたが、普段から疑問に思っていたことを決算内容に絡めて確認でき、前向きな答弁(即対応含む)をいただいたものもありました。しかしながら、行政執行部によっては、自分たちがやってきた事業内容をしっかりと把握していないところも垣間見れてしまい、大変残念に思いました。職員異動等の理由は市民にとっては関係ないことであり、スムーズな引き継ぎや事業遂行をお願いしたいです。



質問  
概要

- 59億6100万円の黒字は適正財政か ●「自転車のまち さいたま」の取り組みについて
- 武蔵浦和義務教育学校の説明会開催は適切か ●防災事業の具体的な成果について
- 生活保護受給者の個人情報の取り扱いは適切か ●学校活用のミニデイサービスについて 等

※人数の多い会派順で質問なので、自動的に聞きたいことはほぼ先に聞かれてしまいます。なので、角度を変えたり、詳細な質問を心がけました。

## 各委員会と本会議にて討論しました!



保健福祉委員会

### 議案153号・154号(放課後児童クラブ関連) 賛成の討論

放課後の教室を使った放課後児童クラブの運営を開始するために、条例を改正し、まずモデル校として選ばれた4校の既存放課後児童クラブを廃止、新たに事業者を募るといったもの。事前の準備や説明不足等が懸念されましたが、待機児童や保護者負担の減少は市民の願いであり、放課後の教室活用はさいたま市の未来を担う大切な事業と考えることから、賛成としました。【結果:賛成多数で可決】

### 議案第145号 令和4年度さいたま市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について 不認定(反対)の討論

決算特別委員会と本会議

決算の概況については、例年通りの適正な財政状況であるということがわかり、各事業においても一定の評価をしました。しかしながら、さいたま市の「公衆街路灯LED化(ESCO)事業」において、債務負担行為の再設定がなされていなかったこと、令和4年度においてこの業務の管理体制が不十分だったことに関しては、地方自治法に反して違法状態であり、未だに調査結果やはっきりした再発防止策が示されておらず、許されるべきことではありません。市民が市政に対する信頼を大きく損なってしまった、大変重要な問題です。今後、徹底的な調査の上、明確な説明と再発防止に努めていただけるように強くお願いを申し上げ、議案第145号は不認定(反対)としました。【結果:反対多数で不認定】

ニュースでも話題になりましたが、7年ぶりの不認定とのこと



佐藤 真実 議員